

### 外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2372201943
事業所名	アバンセグループホームこころ

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	地域との交流が新たな局面を迎えた。 新たに地域の子どもの会の役員の方との関わりができ、7月の「ホームカミングデー」や12月の「クリスマス会」には役員の方が子ども連れで参加した。「ホームカミングデー」には、地域から約50名の参加があった。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	毎奇数月に運営推進会議を開催しており、利用者、家族、地域包括支援センター職員、町内会長、老人会会長、評価機関評価者等が参加している。7月の会議では、「夏の健康管理」をテーマに、訪問看護ステーションから講師を招いて勉強会を行った。職員を含め、参加者は13名であった。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	運営推進会議には、毎回地域包括支援センターの職員が参加し、行政とのパイプ役を果たしている。7名の生活保護受給者の利用があり、市の生活保護の担当課と緊密に連携している。毎年担当者の訪問があり、指定の報告書を年間2回提出している。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	家族のホーム訪問は、週に1回や月に1回と、それぞれの家庭の事情やキーパーソンの仕事の都合によって様々であるが、利用者であるご主人のもとを訪ねて、毎日訪問される奥様がいる。毎月、「こころいきいき通信」を発行して、ホームの取り組みや利用者の様子を家族に知らせている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域とのつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	○	○	○	○	○	◎	○	◎	○	◎	